学校番号	412

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	MOUSA①（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞の4つの活動を柱に学習を進めます。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価をします。また実技の評価は、自己の音楽経験で大きく左右されないように形成的評価をします。つまり、今の自分から努力して上達した部分を評価とします。
・音楽の授業を通して表現力を伸ばし、豊かな感性を深め、音楽が生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を次の通り育成することをめざす。
【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。【知識】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	曲にふさわしい発声や発音で歌おう	【歌唱】 「Caro　mio ben」 「涙そうそう」 「瑠璃色の地球」	a:言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート
	西洋音楽の流れ①	【鑑賞】 「古代ギリシャの音楽」 「中世の音楽」 「ルネサンスの音楽」 「バロックの音楽」	a:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 小テスト	観察 ワークシート	観察 ワークシート

2学期	メロディーをつくろう	【創作】 5音音階による旋律創作	a:音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージとかかわらせて理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 発表	観察 ワークシート 発表	観察 ワークシート
	曲想を感じ取って歌おう	【歌唱】 「Ich liebe dich」	a:言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート
	西洋音楽の流れ②	【鑑賞】 「古代派の音楽」 「ロマン派の音楽」	a:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

3学期	歌詞に描かれている情景を思い浮かべて歌おう	【歌唱】 「小さな空」 「翼」	a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 ワークシート
	西洋音楽の流れ③	【鑑賞】 「現代の音楽」	a:音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度